

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 高齢者の肺癌における高齢者機能評価を用いた治療経過の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本 貴道

[研究責任者] 杉山未紗 (呼吸器内科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2024年8月26日～2024年11月30日

目的：過去の研究で高齢者のがん治療において、治療関連有害事象の低減や予後予測に高齢者機能評価(G8)を用いた全身状態の評価が有用とされている。機能評価のツールは定まったものはないが、G8が簡便なスクリーニング方法として知られている。今回は、肺癌学会で高齢者として定義されている75歳以上の肺癌患者を対象として後ろ向きにG8を評価し、治療脱落や予後と関連しているかどうかを評価する。

方法：診療録を用いた後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2021年4月～2023年3月末に当院呼吸器内科で肺癌と診断された方。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：以下の臨床情報を診療録から取得します。

- ① 臨床情報 (生年月日、性別、初診日、肺癌診断日、病期、病歴に関する情報 (既往歴・家族歴・生活歴)、内服薬数、食事摂取量等)
- ② 身体所見 (身長、体重、認知機能、ADL等)
- ③ 検査所見 (アルブミン、コレステロール、白血球数、リンパ球数等)
- ④ 肺癌治療歴・合併症・有害事象
- ⑤ 転帰

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

杉山未紗, 呼吸器内科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971